

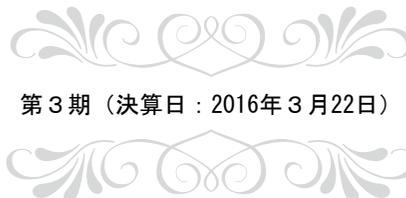
当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／資産複合
信託期間	2017年3月22日まで（2013年2月15日設定）
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	トルコのソブリン債券（国債、政府保証債等をいいます。）およびトルコの金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みません。）株式
運用方法	トルコのソブリン債券およびトルコの金融商品取引所上場株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。</li> <li>・債券および株式への投資割合は、制限を設けません。</li> </ul>
分配方針	毎年3月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のいずれが多い額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間、投資態度等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 運用報告書（全体版）

# トルコ債券&株式 ファンド 2013-02



第3期（決算日：2016年3月22日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「トルコ債券&株式ファンド2013-02」は、去る3月22日に第3期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

国際投信投資顧問株式会社は2015年7月1日に三菱UFJ投信株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034  
(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)  
お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆目次

## トルコ債券&株式ファンド 2013-02のご報告

◇設定以来の運用実績 .....	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移 .....	1
◇運用経過 .....	2
◇今後の運用方針 .....	6
◇1万口当たりの費用明細 .....	7
◇売買及び取引の状況 .....	8
◇株式売買比率 .....	8
◇利害関係人との取引状況等 .....	9
◇組入資産の明細 .....	9
◇投資信託財産の構成 .....	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況 .....	11
◇損益の状況 .....	11
◇お知らせ .....	11

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込み 分配金		期中 騰落額		受益者 利回り	株式組入 比率	株式先物 比率	債券組入 比率	債券先物 比率	投資信託 証券比率	元本 残存率
		円	円	円	%							
(設定日) 2013年2月15日	円 10,000	円 -	円 -	円 -	% -	% -	% -	% -	% -	% -	% -	% 100.0
1期(2014年3月24日)	8,017	0	△1,983	△19.8	△18.0	18.5	-	80.5	-	-	-	18.1
2期(2015年3月23日)	9,634	0	1,617	20.2	△1.7	19.6	-	78.8	-	-	-	6.2
3期(2016年3月22日)	8,515	0	△1,119	△11.6	△4.8	18.4	-	80.1	-	-	0.6	4.3

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

(注) 2015年11月より一部銘柄の種別を株式から投資信託証券 (REIT) へ変更を行っております。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準 価額	騰落 率	株式組 入率	株式先 物率	債券組 入率	債券先 物率	投資信 託証券 比率
(期首) 2015年3月23日	円 9,634	% -	% 19.6	% -	% 78.8	% -	% -
3月末	9,519	△1.2	19.6	-	78.9	-	-
4月末	9,236	△4.1	20.5	-	77.9	-	-
5月末	9,628	△0.1	19.8	-	77.4	-	-
6月末	9,371	△2.7	19.4	-	77.2	-	-
7月末	9,168	△4.8	18.6	-	77.4	-	-
8月末	8,444	△12.4	18.1	-	77.5	-	-
9月末	8,040	△16.5	17.7	-	78.8	-	-
10月末	8,622	△10.5	18.5	-	78.6	-	-
11月末	8,749	△9.2	17.4	-	79.9	-	0.7
12月末	8,646	△10.3	16.8	-	79.2	-	0.6
2016年1月末	8,484	△11.9	16.5	-	79.3	-	0.6
2月末	8,056	△16.4	16.9	-	78.0	-	0.6
(期末) 2016年3月22日	円 8,515	% △11.6	% 18.4	% -	% 80.1	% -	% 0.6

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

(注) 2015年11月より一部銘柄の種別を株式から投資信託証券 (REIT) へ変更を行っております。

## 運用経過

## 当期中の基準価額等の推移について

(第3期：2015/3/24~2016/3/22)

## 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.6%の下落となりました。



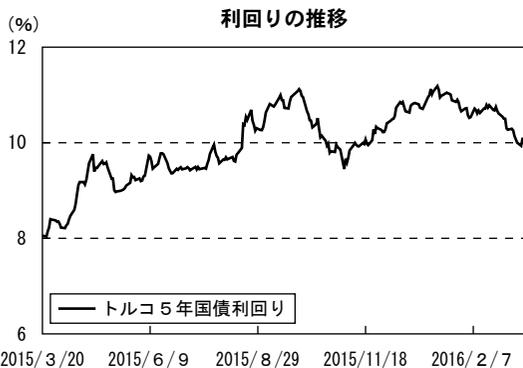
## 基準価額の主な変動要因

## 下落要因

- ・トルコの地政学的リスクが高まったこと、政治の先行き不透明感が増したこと、原油価格の急落や中国経済への不信感を嫌気して世界的にリスク回避的な動きが強まったことで、安全資産と見られている円の需要が強まりトルコ・リラが対円で下落(円高)したことが基準価額の下落要因となりました。

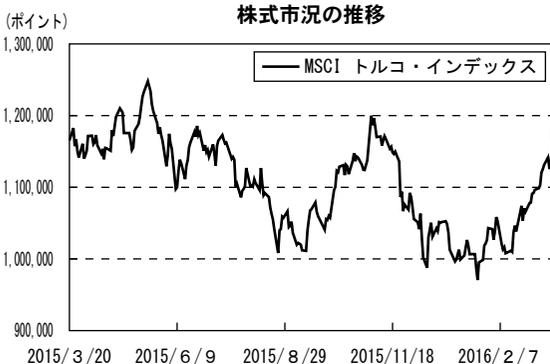
## 投資環境について

(第3期：2015/3/24~2016/3/22)



(出所：Bloomberg)

・グラフの数は、ファンドの基準価額との関連を考慮して前営業日の値を使用しています。



(出所：Bloomberg)

・グラフの数は、ファンドの基準価額との関連を考慮して前営業日の値を使用しています。

※MSCI トルコ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株式インデックスで、トルコの株式の総合投資収益を各株式の時価総額比率で加重平均して算出されています。同指数は、トルコの株式市場の値動きを表す指数として知られています。

当ファンドは、MSCI Inc. 及びその他関連する第三者によって支持、保証、販売または販売促進されるものではありません。MSCI 指数は、MSCI の独占的財産です。

MSCI および MSCI 指数の名称は、MSCI のサービスマークであり、三菱 U F J 国際投信による特定の目的のために使用が許諾されています。当ファンドは委託会社の責任のもとで運用されるものであり、MSCI Inc. は、その運用及び当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。

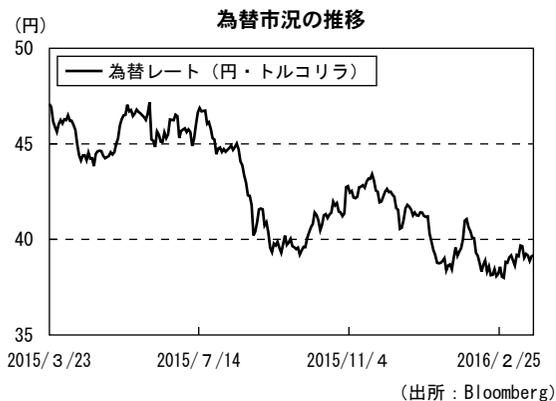
ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。この情報はMSCIの営業秘密であり、またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的など一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

## ◎債券市況

トルコの地政学的リスクの高まりや、2015年6月の総選挙により与党AKPが単独過半数を確保できなかったことによる政治的な不透明感、インフレ率が市場予想を上回って推移したことや財政支出増加懸念、トルコ・リラ安などから、トルコ5年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

## ◎株式市況

与党AKPが2015年6月の総選挙で単独過半数を確保できず連立政権樹立に向けた協議が遅れたことや地政学的リスクの高まり、8月にかけての世界的な株価下落によりトルコの株式市場は下落基調となりました。その後、一旦持ち直したものの、2015年12月以降、中国景気への懸念や原油価格の下落、欧州大手銀行の信用リスクの高まりを受け世界的に株価が下落するなど悪材料が重なり2016年1月にかけてトルコの株式市場は下落しました。しかし、2月以降原油価格が急反発したことやG20（20カ国・地域）財務相・中央銀行総裁会議で世界的な政策協調が合意されたことで新興国への過度な懸念が払拭されトルコの株式市場はほぼ期初水準まで値を戻しました。



#### ◎為替市況

期の初めは、トルコの経常赤字が市場予想より拡大したことや日本政府関係者から「現在のドル／円は購買力平価水準から見て円安」との発言もありトルコ・リラ安／円高基調となりました。2015年6月の総選挙で与党AKPは過半数を確保できずに野党との連立政権協議も決裂するなど政治の先行き不透明感が増したことや世界的なリスク許容度の低下もあり9月にかけてトルコ・リラ安／円高となりました。その後、トルコの中央銀行の利上げ観測や米国の年内利下げ見送り期待などにより一時トルコ・リラ高／円安となりました。12月には石油輸出国機構(OPEC)の減産見送り等により急落した原油価格を嫌気して世界的なリスク回避的な動きが強まったことで、安全資産と見られている円の需要が強まり、期末にかけてトルコ・リラは下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

※委託会社合併に伴う、データ基準統一のため、未収利息等を除いております。また、一部銘柄の種別を株式から投資信託証券（REIT）へ変更を行っており、投資信託証券（REIT）については株式に含めて表示しています。

- ・トルコのソブリン債券（国債、政府保証債等をいいます。）およびトルコの金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象としています。債券への投資については、トルコのソブリン債券に投資し、トルコ・リラベースでの安定した収益の確保を目指して運用を行いました。株式への投資については、トルコ・リラベースでの投資成果がMSCI トルコ・インデックスに連動することを目標として運用を行いました（原則として、MSCI トルコ・インデックスを構成する全銘柄を同指数の時価総額構成比率から算出される株数に応じて組み入れを行います。この投資成果を目指すため、補完的にトルコの株価指数先物取引の買建てを行う場合があります。）。
- ・外貨建資産については、対円ででの為替ヘッジは行っていないことから、トルコ・リラが対円で下落したことが基準価額のマイナスに作用しました。
- ・当期においては、ほぼ全ての信託財産をトルコ・リラに投資し、債券組入比率は80.1%程度、株式組入比率は19.0%程度としました。
- ・当期においては、引き続きファンドの償還日に近いトルコ・リラ建ての固定利付トルコ国債（クーポン9%、2017年3月8日償還）の1銘柄に投資しており、トルコ国債の利回りが上昇したことから価格が下落したものの、利息収入を含めると基準価額のプラスに寄与しました。同国債の格付けは期中に格下げ（BBB→BBB-）となっています。（格付けは、Moody'sとS&Pの格付けのうち、上位の格付けをS&Pの表示方法で表記しています。（出所：Bloomberg））
- ・MSCI トルコ・インデックスを構成する全銘柄を同指数の時価総額構成比率から算出される株数に応じて組み入れを行った結果、トルコの株式市場がわずかに上昇したことが基準価額のプラスに寄与しました。
- ・上記の結果、トルコ・リラが対円で下落したことなどから、基準価額はマイナスとなりました。

### （ご参考）

#### 債券部分の特性値

	期首 (2015年3月23日)	期末 (2016年3月22日)
平均終利	8.2%	10.1%
平均直利	8.9%	9.1%
デュレーション	1.8	0.9

※組入比率は未収利息等を除いております。

- ・平均終利（複利最終利回り）とは、償還日までの利子とその再投資収益および償還差損益も考慮した利回り（年率）をいいます。
- ・平均直利（直接利回り）とは、受取利息収入部分にのみ着目した利回り。債券価格に対する受取利息の割合（年率）をいいます。
- ・デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

#### 株式業種別組入比率

業種名	期首 (2015年3月23日) 比率	期末 (2016年3月22日) 比率
金融	9.8%	8.6%
生活必需品	2.6%	2.8%
資本財・サービス	2.5%	2.6%
電気通信サービス	1.9%	1.7%
エネルギー	0.9%	1.2%
一般消費財・サービス	1.0%	1.2%
素材	0.9%	0.9%

- ・比率は、当ファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・業種はGICS（世界産業分類基準）のセクター分類に基づいています。詳しくは、後記「GICS（世界産業分類基準）について」をご参照ください。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。そのため、記載すべき事項はありません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間、投資態度等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配金】

決算期	1万口当たり分配金（税込み）
第3期	0円

## 今後の運用方針

### ◎今後の運用方針

- ・トルコのソブリン債券（国債、政府保証債等をいいます。）およびトルコの金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式に投資を行います。
- ・債券への投資については、トルコのソブリン債券に投資し、トルコ・リラベースでの安定した収益の確保を目指します。
- ・株式への投資については、トルコ・リラベースでの投資成果がMSCI トルコ・インデックスに連動することを目標とします。

### GICS（世界産業分類基準）について

Global Industry Classification Standard（“GICS”）は、MSCI Inc.（以下MSCI）とThe McGraw-Hill Companies, Inc.の事業部門であるStandard & Poor's（以下S&P）が開発し、両者が排他的知的財産および商標を有しています。三菱UFJ国際投信は、許諾を得て利用しています。GICSおよびGICSの基準および分類作業に関連したMSCIおよびS&Pとその関係会社あるいは第三者（以下、MSCIおよびS&Pとその関係会社）は、当該基準および分類（あるいは、これらを利用した結果）に関して何らかの保証や表明を行うものではありません。また、MSCIおよびS&Pとその関係会社は、GICSの独創性、正確性、完全性、販売可能性や特定の利用目的に対する適合性等を保証するものではありません。

上記のいずれをも制限することなく、いかなる場合においても、MSCIおよびS&Pとその関係会社は、損害が発生する可能性を知悉していた場合であっても、直接的な損害、間接的な損害、特別な損害、懲罰的損害賠償、結果としての損害、その他の損害（逸失利益を含む）について、その責を負いません。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年3月24日～2016年3月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 ( 投信会社 )  ( 販売会社 )  ( 受託会社 )	90円 ( 43 )  ( 43 )  ( 5 )	1.023% (0.485)  (0.485)  (0.054)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数) ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価  交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価  ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料  ( 株式 ) ( 投資信託証券 )	1  ( 1 ) ( 0 )	0.014  (0.014) (0.000)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) その他費用 ( 保管費用 ) ( 監査費用 )	39 ( 38 ) ( 1 )	0.443 (0.432) (0.011)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	130	1.480	
期中の平均基準価額は、8,830円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年3月24日～2016年3月22日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	トルコ	百株 — (116)	千トルコリラ — (16)	百株 1,905 ( 585)	千トルコリラ 1,610 ( 171)

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	トルコ	国債証券	千トルコリラ 1,566	千トルコリラ 6,753

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## 投資信託証券

	銘 柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	トルコ	千口	千トルコリラ	千口	千トルコリラ
	EMLAK KONUT GAYRIMENKUL YATI	— (56)	— (154)	6	17
	小 計	— (56)	— (154)	6	17

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は分割・合併および償還等による増減分です。

## ○株式売買比率

(2015年3月24日～2016年3月22日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	69,586千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	195,371千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.35

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年3月24日～2016年3月22日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 383	百万円 29	% 7.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2016年3月22日現在)

## 外国株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期		末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(トルコ)	百株	百株	千トルコリラ	千円		
AKBANK T. A. S.	811	573	467	18,274		銀行
TURKIYE IS BANKASI-C	581	410	203	7,961		銀行
TURKIYE GARANTI BANKASI	852	602	473	18,505		銀行
TURKCELL ILETISIM HIZMET AS	324	229	284	11,139		電気通信サービス
YAPI VE KREDI BANKASI	320	226	91	3,570		銀行
ANADOLU EFES BIRACILIK VE	76	54	115	4,520		食品・飲料・タバコ
TUPRAS-TURKIYE PETROL RAFINE	46	32	265	10,369		エネルギー
HACI OMER SABANCI HOLDING	338	239	236	9,245		各種金融
EREGLI DEMIR VE CELIK FABRIK	516	364	145	5,707		素材
KOC HOLDING AS	233	165	240	9,420		資本財
ARCELIK AS	87	61	115	4,529		耐久消費財・アパレル
TURK SISE VE CAM FABRIKALARI	219	173	61	2,419		資本財
FORD OTOMOTIV SANAYI AS	25	18	70	2,753		自動車・自動車部品
TURK HAVA YOLLARI AO	203	143	114	4,478		運輸
ULKER BISKUVI SANAYI	56	40	86	3,385		食品・飲料・タバコ
TOFAS TURK OTOMOBIL FABRIKA	46	32	73	2,876		自動車・自動車部品
TURKIYE VAKIFLAR BANKASI T-D	276	195	90	3,546		銀行
COCA-COLA ICECEK AS	28	19	77	3,033		食品・飲料・タバコ
TAV HAVALIMANLARI HOLDING AS	60	42	76	2,975		運輸
TURKIYE HALK BANKASI	230	162	187	7,325		銀行
ENKA INSAAT VE SANAYI AS	172	135	65	2,575		資本財
TURK TELEKOMUNIKASYON AS	193	118	77	3,046		電気通信サービス
BIM BIRLESIK MAGAZALAR AS	78	55	337	13,202		食品・生活必需品小売り
PETKIM PETROKIMYA HOLDING AS	147	157	58	2,303		素材
EMLAK KONUT GAYRIMENKUL YATI	700	—	—	—		不動産
合 計	株 数 銘 柄 数 < 比 率 >	6,629 25	4,256 24	4,019 —	157,165 <18.4%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	額面金額	当 期 末				残存期間別組入比率		
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
		外貨建金額	邦貨換算金額					
トルコ	千トルコリラ 17,720	千トルコリラ 17,535	千円 685,625	% 80.1	% -	% -	% -	% 80.1
合 計	17,720	17,535	685,625	80.1	-	-	-	80.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) B B格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS & Pの格付けのうち高いものを採用しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末				償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
トルコ	%	千トルコリラ	千トルコリラ	千円	
国債証券	9.0	17,720	17,535	685,625	2017/3/8
合 計				685,625	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## 外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(トルコ) EMLAK KONUT GAYRIMENKUL YATI	千口 -	千口 49	千トルコリラ 141	千円 5,518	% 0.6
合 計	口 銘	数 柄	金 額	金 額	比 率
	-	49	141	5,518	<0.6%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2016年3月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 157,165	% 18.3
公社債	685,625	79.6
投資証券	5,518	0.6
コール・ローン等、その他	12,743	1.5
投資信託財産総額	861,051	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(851,656千円)の投資信託財産総額(861,051千円)に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1トルコリラ=39.10円	
---------------	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年3月22日現在)

項目	当期末
(A) 資産	861,051,161 円
コール・ローン等	10,520,365
株式(評価額)	157,165,292
公社債(評価額)	685,625,553
投資証券(評価額)	5,518,929
未収利息	2,183,318
前払費用	37,704
(B) 負債	4,758,767
未払信託報酬	4,709,258
その他未払費用	49,509
(C) 純資産総額(A-B)	856,292,394
元本	1,005,637,088
次期繰越損益金	△ 149,344,694
(D) 受益権総口数	1,005,637,088口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,515円

## &lt;注記事項&gt;

- ① 設定年月日 2013年2月15日  
 設定元本額 23,007,483,746円  
 期首元本額 1,429,379,647円  
 元本残存率 4.3%

また、1口当たり純資産額は、期末0.8515円です。

- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は149,344,694円です。

- ③ 計算期間末における当ファンドの配当等収益額(76,608,232円)から経費(15,406,683円)を控除した額(61,201,549円)に、期末の受益権口数(1,005,637,088口)を乗じて期中の平均受益権口数(1,190,491,959口)で除することにより分配可能額は(51,698,415円)(10,000口当たり514円)ですが、当期に分配した金額はありません。

\* 三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ(<http://www.am.mufg.jp/>)をご覧ください。

## [お知らせ]

- ① 委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱UFJ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱UFJ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱UFJ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ② 委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ③ 2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

## ○損益の状況 (2015年3月24日～2016年3月22日)

項目	当期
(A) 配当等収益	76,608,232 円
受取配当金	6,225,437
受取利息	68,883,408
その他収益金	1,499,387
(B) 有価証券売買損益	△218,910,997
売買益	7,148,564
売買損	△226,059,561
(C) 有価証券評価差損益	12,860,977
(D) 信託報酬等	△ 15,406,683
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△144,848,471
(F) 前期繰越損益金	△ 52,293,369
(G) 解約差損益金	47,797,146
(H) 計(E+F+G)	△149,344,694
(I) 収益分配金	0
次期繰越損益金(H+I)	△149,344,694

(注) (D) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。